

豊橋市の現状

目次

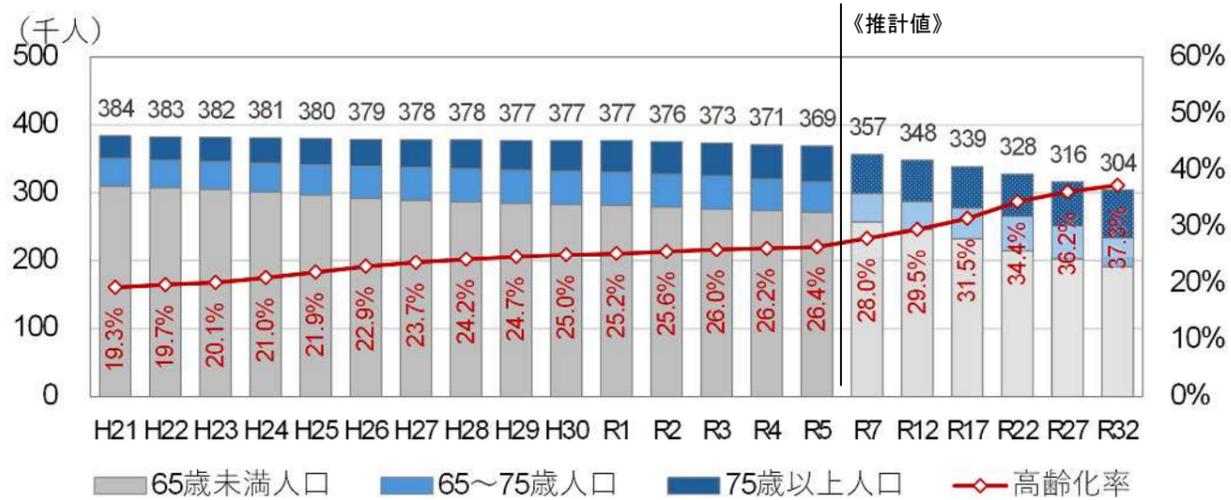
1. 豊橋市の現状	
1. 1 人口の動向	1
1. 2 観光動向	2
1. 3 道路交通	2、3
1. 4 公共交通	3、4
1. 5 市民意識調査	4、5

1. 豊橋市の現状

1.1 人口動向

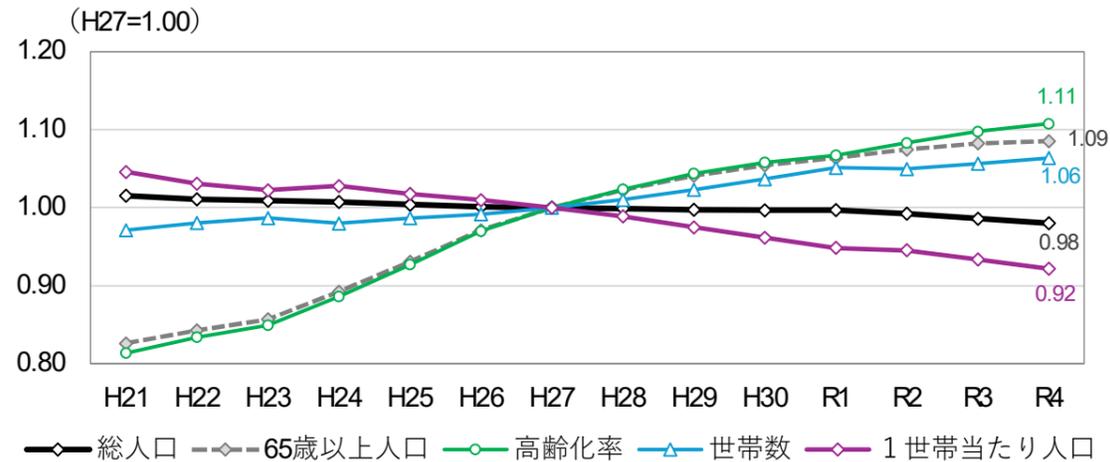
(1) 人口の推移

- 豊橋市の人口は、令和5年時点で約37万人である。
- 人口は一貫して減少していることに加え、高齢化が急速に進んでおり、令和5年時点で26.4%である。また、令和3年には、前期高齢者数より後期高齢者数の方が上回っており、高齢者の中での年齢階層も上昇している状況がうかがえる。
- 市の将来人口は、団塊ジュニア世代が65歳を超える令和22年（2040年）には、令和5年時点より1割超（3.9万人）減少し、高齢化率は34%に達すると予測されている。



資料：H21～R5は豊橋市統計調査データより作成（各年10月1日現在）
R7以降の推計値：国立社会保障・人口問題研究所（令和5年推計）

図1 豊橋市の人口推移（R7以降は推計値）

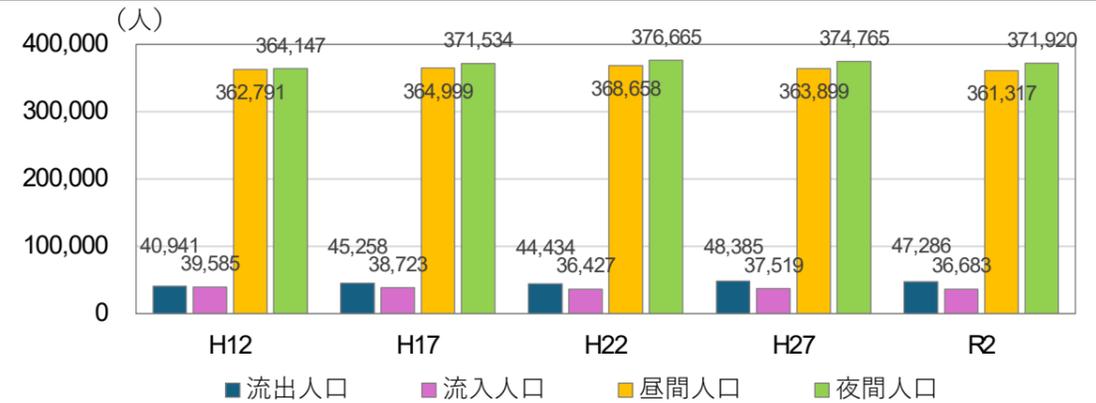


資料：豊橋市統計書より作成

図2 人口等の伸び率（H27=1.00）

(2) 流出人口の推移

- 流出人口が流入人口を上回り、昼間人口よりも夜間人口が多くなっている。
- 流出人口と流入人口の差は、平成12年から令和2年にかけて、大きくなっている。

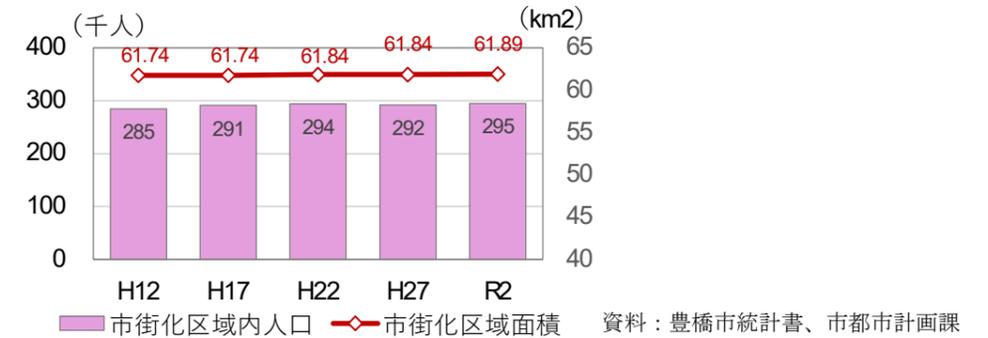


資料：国勢調査

図3 流出人口の推移

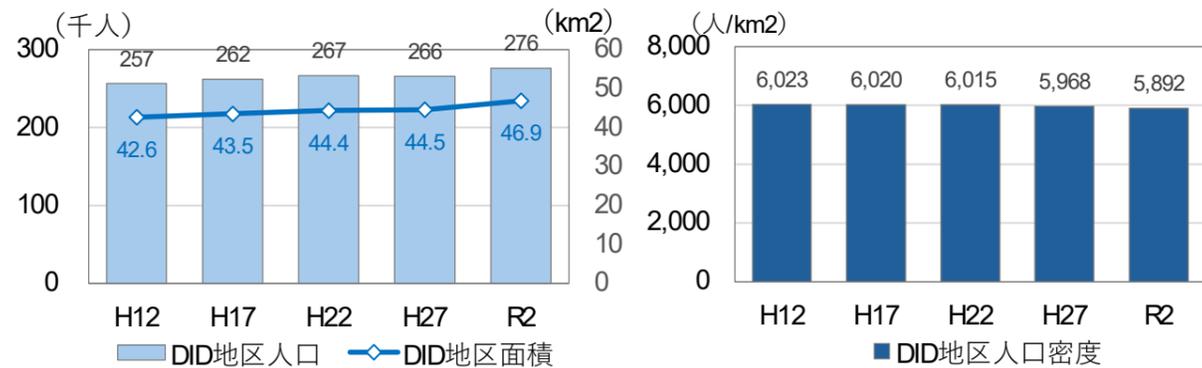
(3) 市街化区域・DID地区の変遷

- 市街化区域は61.84 km²で、市域全体（261.35 km²）の約24%である。
- DID地区の面積と人口は微増傾向にあるが、人口密度が減少傾向にある。
- 市全体人口のうち、市街化区域内の居住人口が約78%、DID地区内が約74%を占めている。



資料：豊橋市統計書、市都市計画課

図4 市街化区域の人口と面積の推移

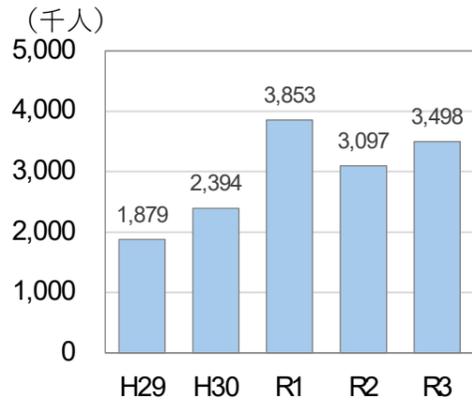


資料：豊橋市統計書

図5 DID人口と面積の推移

1.2 観光動向

- 観光入込客数は年間 300 万人を超えており、令和元年は 385 万人、令和 2 年は 309 万人、令和 3 年は 349 万人である。
- 令和 3 年の個別施設でみる観光入込客数は、道の駅「とよはし」が約 220 万人/年と最も多く、次いで豊橋総合動植物公園が約 93 万人/年と多くなっている。



資料：豊橋市

図 6 観光入込客数の推移、観光レクリエーション利用者統計

観光レクリエーション利用者統計（令和 3 年）

観光レクリエーション資源・施設名	利用者数 (年間)	分類
さくらまつり	20,000	行事・催事
花しょうぶまつり(賀茂しょうぶ園)	40,000	
東観音寺	840	神社・仏閣
普門寺	18,000	
吉田城	24,342	名所・旧跡等
豊橋総合動植物公園	935,392	公営公園等
二川宿本陣資料館	20,093	公営博物館・資料館等
美術博物館	99,998	
視聴覚教育センター・地下資源館	76,561	海岸遊覧等
葦毛湿原	49,855	山・谷川・湖等
道の駅「とよはし」	2,213,084	その他
計	3,498,165	

(単位：人、人泊)

1.3 道路交通

(1) 渋滞状況

- 市内の主な渋滞箇所と渋滞区間は、豊橋駅を中心とした市の中心部とその周辺に集中している。



資料：愛知県道路交通渋滞対策協議会（令和 5 年 8 月 10 日時点）

図 7 市内の主要渋滞箇所

(2) 自動車保有台数の推移

- 保有台数の総数は微増の状況にあり、そのうち約 8 割を示す乗用車については令和元年頃より横ばいとなっている。

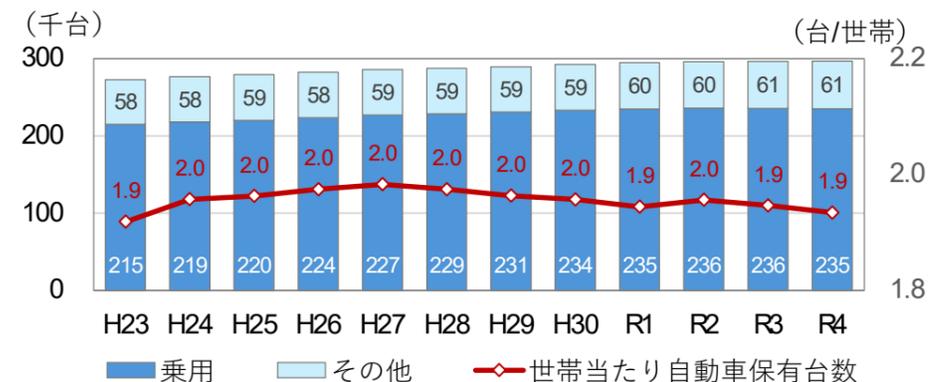


図 8 自動車保有台数の推移

資料：豊橋市統計書

(3) 交通事故の発生状況

- 市内全体および県内の交通事故の発生は減少傾向にあるものの、県内においては高齢運転者の交通事故は横ばい傾向にある。

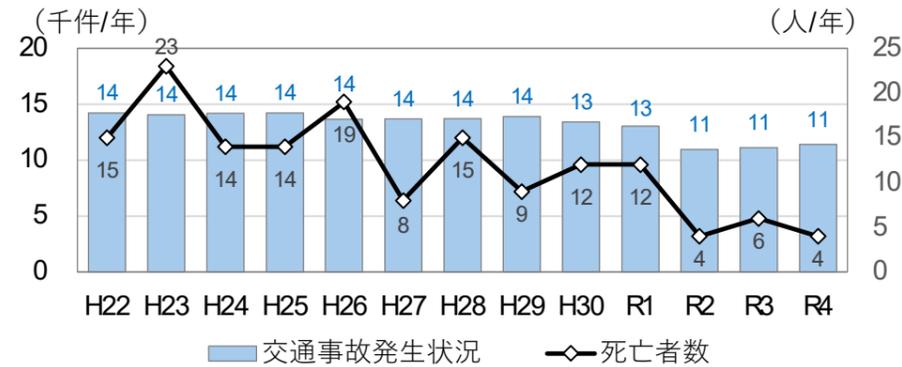


図 9 市内の交通事故の発生状況

資料：豊橋市統計書

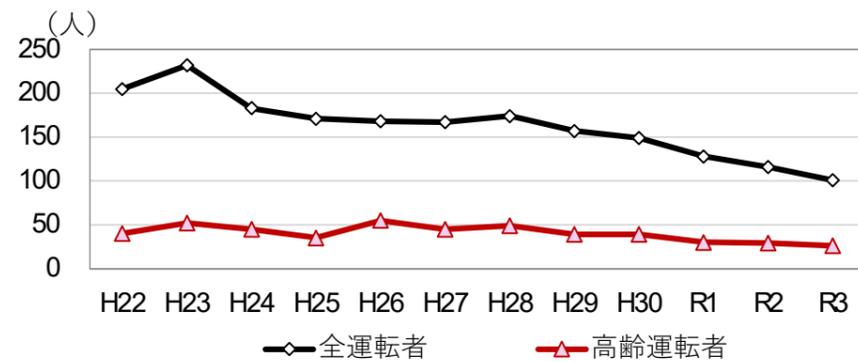


図 10 県内の高齢運転者の事故当事者数の推移

資料：愛知県警

	死者数	傷者数	計	割合
子ども(15歳以下)	0	84	84	7%
若者(16～24歳)	1	209	210	17%
一般(25～64歳)	2	781	783	62%
高齢者(65歳以上)	3	188	191	15%
計	6	1,262	1,268	100%

表 1 市内の年齢区分別人身事故〔令和 5 年〕

資料：豊橋市ホームページ

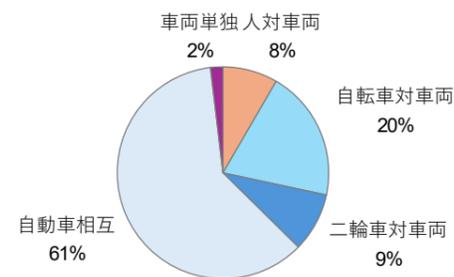


図 11 市内の交通事故類型〔令和 4 年〕

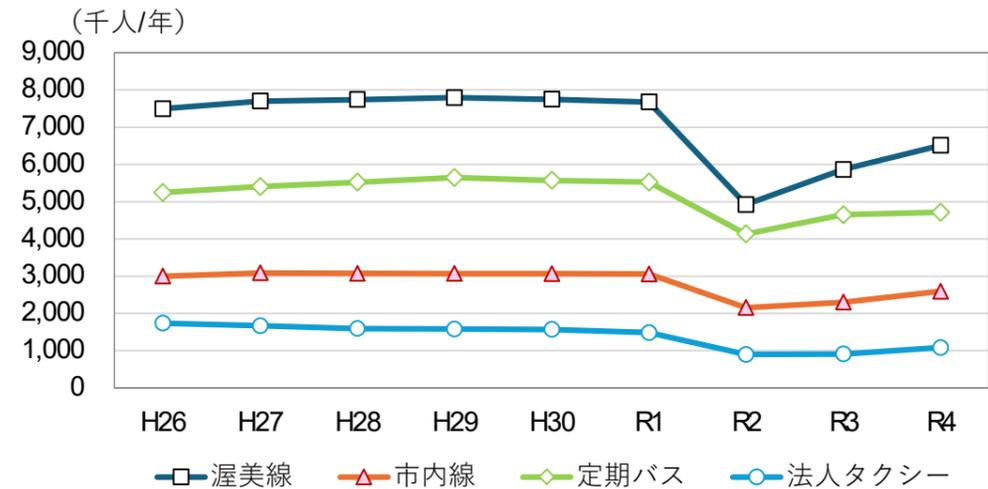
資料：豊橋市統計書

1.4 公共交通

(1) 利用者数の推移

1) 豊橋鉄道渥美線・東田本線（路面電車）、路線バス、法人タクシー

- 豊橋鉄道渥美線、東田本線（路面電車）、路線バス、法人タクシーのいずれも横ばいで推移していたが、コロナ禍の影響もあり、令和 2 年度に大きく減少した。令和 3 年、4 年と増加しているが、コロナ禍前には戻っていない。

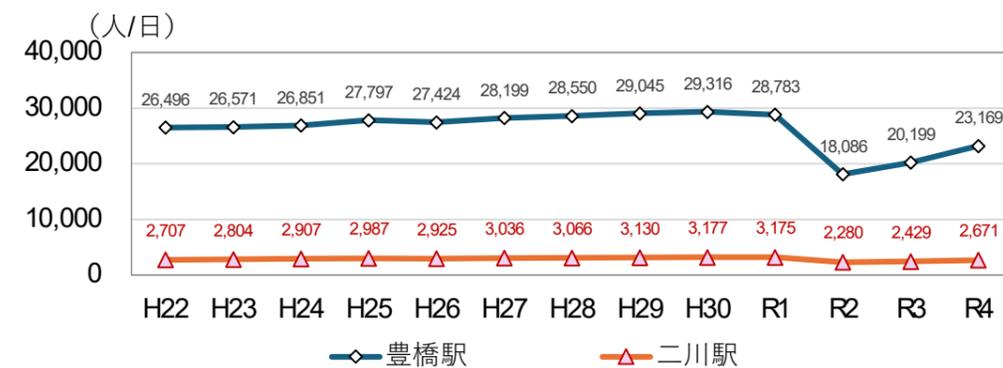


資料：豊橋市統計書

図 11 豊橋鉄道渥美線・東田本線（路面電車）、路線バス、法人タクシーの利用者数の推移

2) 鉄道主要駅（JR 豊橋駅、JR 二川駅）

- JR 豊橋駅と JR 二川駅は、横ばいで推移していたが、コロナ禍の影響もあり、令和 2 年度に大きく減少した。令和 3 年、4 年と増加しているが、コロナ禍前には戻っていない。

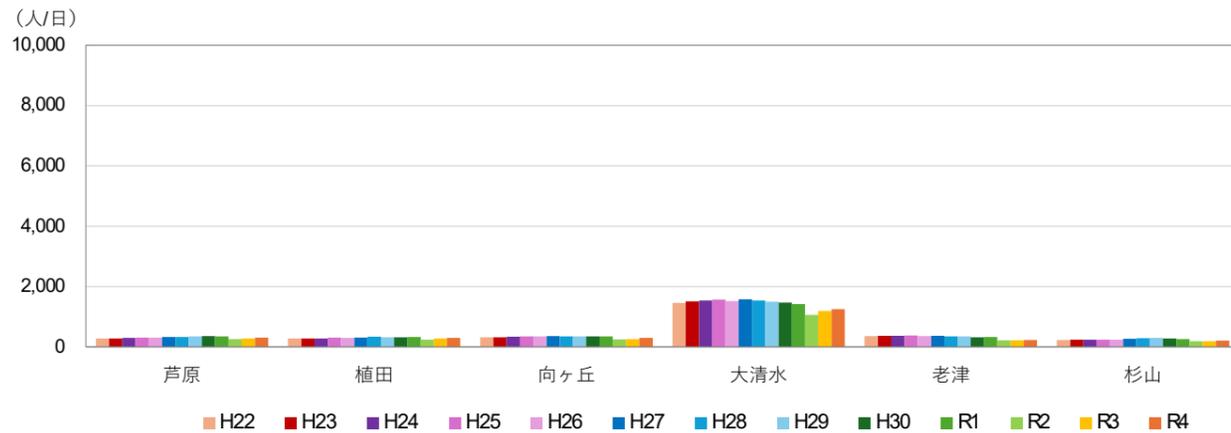
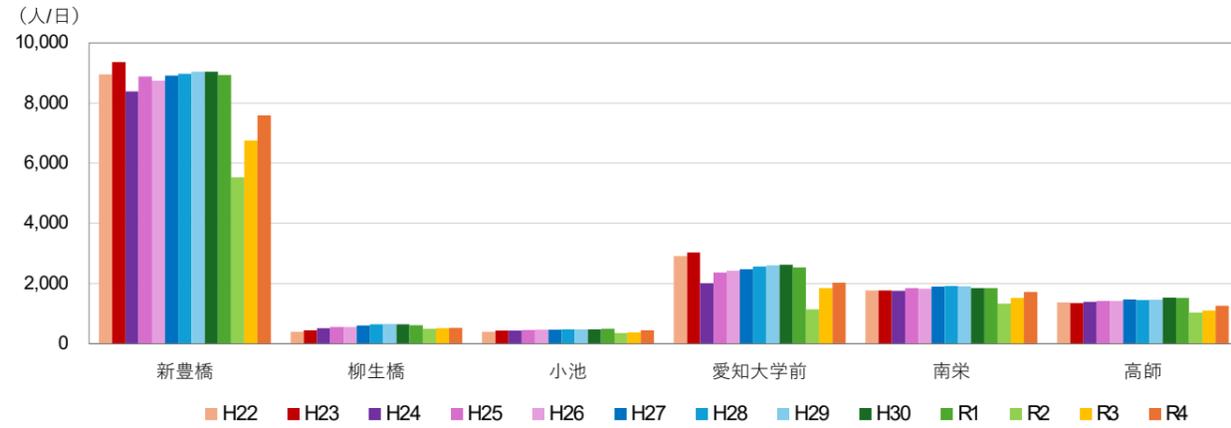


資料：豊橋市統計書

図 12 豊橋駅と二川駅の利用者数（1日平均）の推移

3) 豊橋鉄道渥美線の各駅

- 豊鉄渥美線の利用者について、起点の豊橋駅に接続する新豊橋駅の利用者が、全体の約40%を占めて最も多くなっている。その他には、大学が近接する愛知大学前駅のほか、上位計画で地域拠点に位置づけられる南栄駅、高師駅、大清水駅での利用が多い。



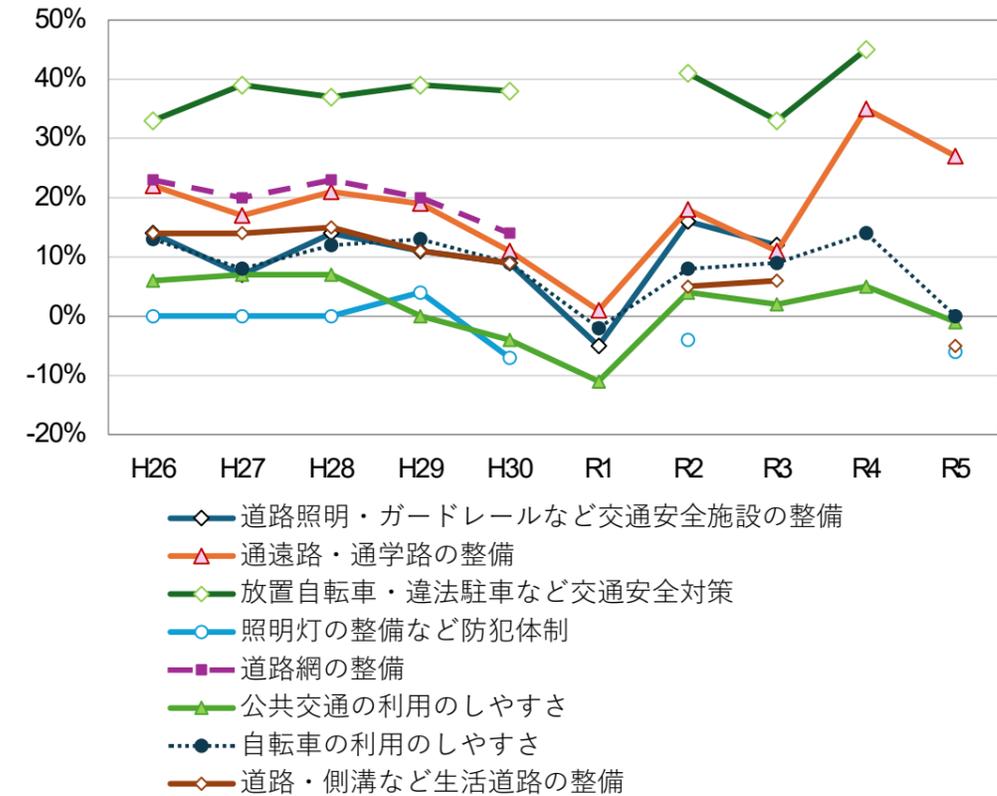
資料：豊橋鉄道（各年5月の調査日1日（平日）のデータ）

図 13 豊鉄渥美線の駅別利用者数の推移

1.5 市民意識調査

(1) 地域の生活環境等の満足度

- 交通に関する生活環境等の満足度について、「放置自転車・違法駐車など交通安全対策」に対する満足度が高く、次いで「道路網の整備」、「通遠路・通学路の整備」に対する満足度が高い。
- 一方、「照明灯の整備など防犯体制」、「公共交通の利用のしやすさ」に対する満足度が低く、平成30年、令和元年は評価点が0を下回っている。



資料：豊橋市市民意識調査

(注意：年度により設問が異なるため、設問・評価が無い年度がある)

図 14 交通に関連した項目の満足度評価

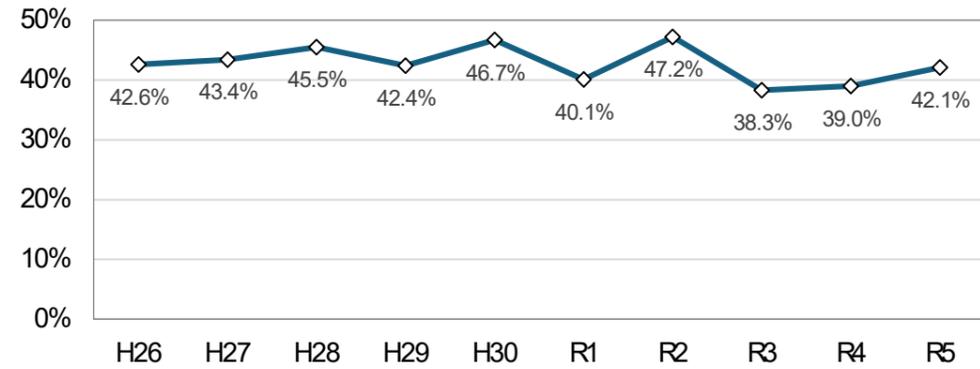
ここでは、「十分満足である」「まあ満足である」「どちらとも言えない」「やや不満である」「非常に不満である」の回答者数に、各々+2点、+1点、0点、-1点、-2点を掛け合わせ、その合計を回答者数で割ったもの（平均点）を「満足度評価」として分析

※平均点による満足度の評価（凡例）

-0.3	-0.1	0	0.1	0.2	0.4
非常に低い	低い	やや低い	普通	やや高い	非常に高い

(2) 「道路や公共交通の便がよい」点に対する満足度

- 道路や公共交通の便に対する満足度について、40%台を推移していたが、この3年は若干満足度が低い。

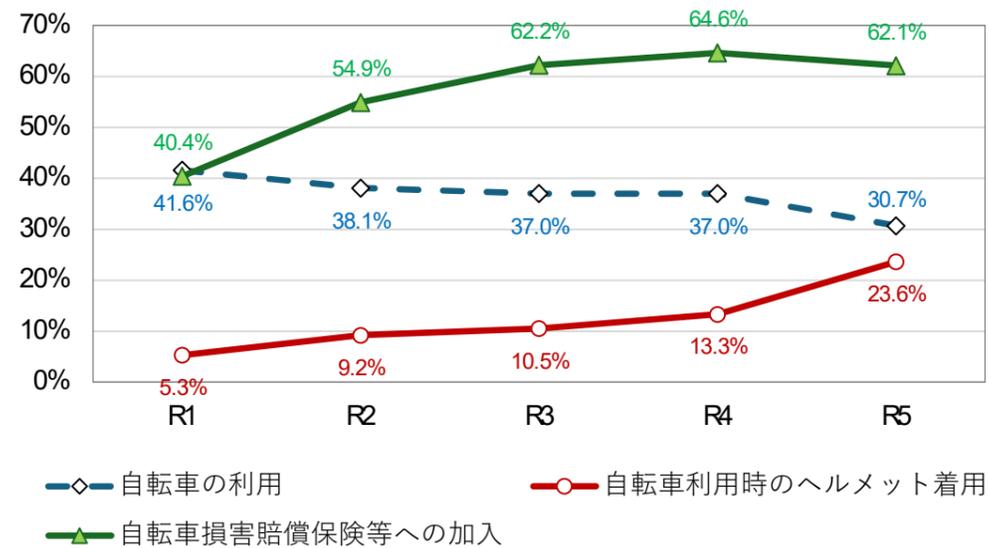


資料：豊橋市市民意識調査

図 15 「道路や公共交通の便がよい」点に対する満足度

(3) 自転車の安全な利用

- 自転車の利用割合は、年々減少傾向にある。一方、自転車利用時のヘルメット着用、自転車損害賠償保険等への加入は、増加傾向にある。



資料：豊橋市市民意識調査

図 16 自転車の安全な利用